



市民派連合
ふるはた ひでお
古畑 秀夫

ワクチン接種でコロナの感染拡大を抑える

その他の
質問事項

- ▼ 新型コロナ禍で今後の経済対策について
- ▼ 関係人口と移住定住の促進について

◆ ワクチン接種体制は

問 ワクチン接種計画の概要はどうか。

答 16歳以上の市民が対象で「集団接種」と「個別接種」を効果的に組み合わせる。65歳以上の高齢者は4月以降に接種を開始し、3か月程度で終わらせるよう医師会等と調整を図っている。

接種は予約制としており、市のコールセンターなどで対応していく。
(ワクチン接種推進室)

◆ 生活困窮者支援策は

問 「まいさぼ塩尻」の相談件数、相談内容、解決につながった件数は。

答 昨年4月から本年1月末までの相談者数は1427人で昨年度の同期間と比較して3倍近く増加している。

相談内容は新型コロナウイルスの関係で休業や失業により生活が苦しい、住宅ローンやアパートの家賃が払えないなどが多数寄せ

られている。解決につながった件数は就職内定者が48人、他機関へのつながりや住居確保給付金の相談、申請を含め、継続した支援を行っている。
(福祉課)

◆ 畑地の砂塵対策は

問 どのような取り組みをしているか。

答 松本南西部地域農地風食防止対策協議会を設置し検討している。市内の昨年度の実績は規格外麦の配布、えん麦、ライ麦などの購入補助で、播種面積に換算すると約246ヘクタールになる。引き続き関係者と有効な対策を探っていく。
(農政課)



ワクチン接種シミュレーション

地域包括ケアシステム実現に向けて

その他の
質問事項

- ▼ 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ▼ 投票率向上について

◆ 地域コミュニティの
活性化

問 地域包括ケアシステムの実現は地域づくり、人づくりである。超高齢社会の課題を解決していくのは、高齢者だけの問題ではない。地区の声として、問題解決に継続して取り組む担い手がない、誰が音頭を取るのかといった意見があるが。

答 多くの地区で担い手となる地域リーダーの発掘・育成に苦慮しているが、地域の状況を知り、「一人」を把握している支所によるサポート体制は極めて重要と考える。支所と地域に関連した部署、職員等とも連携を図り、各地区の課題解決に向けた取組を支援していく必要があると考える。
(地域振興課)

問 大門地区は大門七区の世帯数増加、一方人口の減少、高齢化の問題、西小学校児童数減少等々

答 大門地区が主体的に課題解決に取り組むことが重要である。現時点では配置の考えはない。
(地域振興課)

◆ 要望

西小学校は、令和5年度には1年生が1学級になると予想されている。子どもの育ちを応援し、高齢者に住みよい街づくりを真剣に考えていく時期には、地区センターに地域づくりコミュニティワーカールの配置をお願いしたい。

多くの課題を抱えている。住民参加で課題解決に取り組んでいくために地区センターに地域づくりコミュニティワーカールを配置する考えは。

大門地区センター



大門地区センター